

平成20年11月20日
消 防 庁

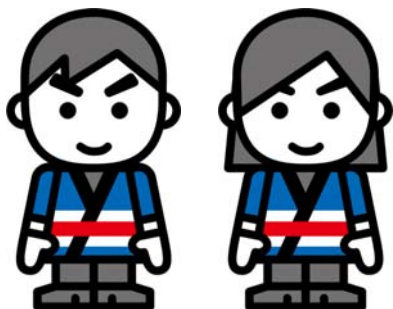
平成20年度消防功労者総務大臣表彰

平成20年度消防功労者総務大臣表彰の受賞者は21名で、内訳は別添受賞者名簿のとおりです。

本表彰は、昭和63年度に創設され、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、地域社会の安全確保、防災思想の普及、消防施設の整備その他の災害の防御に関する対策の実施について尽力している消防団員及び消防関係者の士気高揚を図り、職務に精励する励みとする。」ことを目的で実施しているものです。

○ 表彰式日程

- 1 日 時 11月27日(木) 11時00分～11時30分
- 2 場 所 総務省講堂(中央合同庁舎第2号館 地下2階)
東京都千代田区霞が関二丁目1番2号
- 3 出席予定者 総務大臣、(財)日本消防協会会長、(財)日本消防協会理事長、消防庁長官、
消防庁次長、国民保護・防災部長、審議官等



連絡先

消防庁総務課

三宅政策評価広報官・後藤係長

Tel 03(5253)7521 内線7585

Fax 03(5253)7531

平成20年度
消防功勞者総務大臣表彰

平成20年11月
総務省消防庁

平成20年度消防功労者総務大臣表彰者

- | | | |
|-------------|-------------|----------------------|
| こがわ
○古川 | まさいち
正一 | 青森県平川市平賀消防団 団長 |
| さいとう
○齊藤 | ひろおみ
博臣 | 秋田県上小阿仁村消防団 団長 |
| ほそや
○細谷 | やすひさ
康久 | 福島県郡山市消防団 団長 |
| なかむら
○中村 | こうじ
幸治 | 新潟県糸魚川市糸魚川消防団 団長 |
| まつむら
○松村 | ただお
忠俣 | 京都府長岡京市消防団 団長 |
| やまもと
○山本 | としはる
利治 | 大阪府大阪狭山市消防団 団長 |
| こまつ
○小松 | ひろみつ
弘満 | 広島県江田島市消防団 団長 |
| ひらいし
○平石 | たかお
隆夫 | 広島県北広島町消防団 団長 |
| かさか
○加坂 | ながはる
長治 | 広島県三次市消防団 団長 |
| えがしら
○江頭 | ますらお
大丈夫 | 長崎県諫早市消防団 副団長 |
| もり
○森 | のりよし
法義 | 長崎県諫早市消防団 副団長 |
| かわの
○川野 | いせい
惟精 | 熊本県人吉市消防団 団長 |
| にしぞの
○西園 | とおる
徹 | 鹿児島県日置市消防団 団長 |
| いわい
○岩井 | みちこ
美智子 | 石川県女性防火クラブ連絡協議会 副会長 |
| たなか
○田中 | なつみ
夏美 | 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会 会長 |
| やまさき
○山崎 | たみこ
たみ子 | 兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 会長 |
| まえはら
○前原 | さよ
紗代 | 和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 会長 |
| まつやま
○松山 | まさこ
政子 | 高知県女性防火クラブ連絡協議会 会長 |
| やの
○矢野 | えつこ
エツ子 | 大分県婦人防火クラブ連合会 副会長 |
| ながやま
○長山 | みえこ
ミエ子 | 鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長 |
| よしだ
○吉田 | みつえ
ミツ江 | 鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長 |

総務大臣表彰受賞者

こがわ まさいち
○古川 正一 青森県平川市平賀消防団 団長

現住所 青森県平川市

昭和35年に入団以来、48年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成18年1月、初代平川市連合消防団長に就任した後は、各消防団長と協議検討を図り、それぞれの年間計画を見直し、各個訓練、機械器具の取扱い、防火管理の説明、消防ポンプ操法の実施等に積極的に取り組み、各消防団間での教養・訓練の格差の是正を実現した。さらに、平成18年12月、青森県消防協会南黒支部長に就任後は、環境の変化に対応した教養・訓練計画を提案するなど、支部管内の団員及び団幹部の意識の高揚と資質向上に尽力し、その功績は誠に顕著である。

また、火災等の災害時に際しては、永年の経験を生かし見事な現場指揮にあたり、被害の軽減に多大な貢献をしている。

さいとう ひろおみ
○齊藤 博臣 秋田県上小阿仁村消防団 団長

現住所 秋田県北秋田郡上小阿仁村

昭和50年に団員を拝命以来消防業務に精励し、平成2年には、その人格と卓越した手腕と力量を買われて団長に任命された。団長就任以来、常に無火災の達成を念願し、防火思想の普及徹底に努めるとともに、消防行政をよく理解し、特に団員の教育訓練には率先垂範し、陣頭に立って任務を遂行してきた。

団長就任後は、防火水槽40基、簡易水道による消火栓においては94箇所を整備し、自主防災会等による、消火栓を利用した放水訓練等の実践に対応できる体制を強化した。なお平成20年5月13日に発生した国有林火災において、鎮火に至るまでの被害面積が3.35haで収束したのは、初期消火活動を重視した日頃の訓練及び豊富な経験による的確なアドバイスが奏功したといえる。

また平成14年からは、秋田県消防協会理事及び同大館秋田支部長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{ほそや}細谷 ^{やすひさ}康久 福島県郡山市消防団 団長

現住所 福島県郡山市

昭和32年に入団以来、51年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

自らの住む地域の安全を最前線で守っている2,600余名の団員の資質の向上や、消防装備の充実強化、待遇の改善等の環境整備に尽力し、有事に際し即時対応できる総合的な防災体制の確立を率先して行い、地域防災力の向上に大きく貢献している。

平成18年からは福島県消防協会会長に就任し、持ち前の情熱と行動力で、福島県全体の消防団の士気高揚と活性化に尽瘁しており、平成19年には、その功績が認められ、日本消防協会会長特別功労章を受章した。

また、平成18年には日本消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{なかむら}中村 ^{こうじ}幸治 新潟県糸魚川市糸魚川消防団 団長

現住所 新潟県糸魚川市

昭和30年に入団以来、53年余の永きにわたり培った幾多の経験と、熟練した技術・行動力は他の団員の模範であり、消防業務を全うする為日々研鑽している。

平成9年に団長就任後、優れた統率力を発揮しており、団員の一糸乱れぬ組織活動に対する評価は高く、地域住民からも厚く信頼されている。

近年の少子高齢化・過疎化等による団員不足の諸問題を抱える中、消防団組織の見直しを行い、平成15年、団本部内に総務・訓練・予防・技術の専門部を設けて団本部を強化するとともに、部の統廃合により定員を見直し、定員減による不利な面を機動力でカバーするためポンプ付積載車の整備計画を策定した。

また平成11年からは、新潟県消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

まつむら ただお
○松村 忠俣 京都府長岡京市消防団 団長

現住所 京都府長岡京市

昭和55年に入団以来、28年余の永きにわたり、一貫として消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成8年、団長就任後は、熱意と指揮力で団員をまとめ、各種訓練時には自ら率先垂範し、厳格な指導をするとともに、持前の郷土愛の精神をもって消防団活動に尽力し、地域住民の防災思想の普及徹底に努めている。

災害現場では、消防署消防隊との連携を密にし的確な指示を与え、長時間、団員を鼓舞して指揮するなど団員、市民から寄せる期待は大である。

平成18年から2年間、日本消防協会の代議員を歴任されるなど、消防団活動に対する理解と浸透を深めた功績は大である。

また、平成18年からは、京都府消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

やまもと としはる
○山本 利治 大阪府大阪狭山市消防団 団長

現住所 大阪府大阪狭山市

昭和29年に入団以来、53年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成10年4月、団長に就任後は幾多の災害現場で陣頭指揮を取り、常に献身的に部下団員の指導育成を行い、消防団組織の充実強化を図るなか、平成18年9月に実施された、第50回大阪府消防操法大会に南河内地区支部を代表し出場する際、大会に向けての訓練環境の整備に奔走され、4月初旬から6ヶ月間、持ち前のリーダーシップを発揮し、消防団一丸となって連日連夜の厳しい訓練を行った結果、大会に優勝し、同年10月実施の全国大会に出場した。この大会を通じて消防団の活性化及び団結力強化につながり、本市消防団の名を全国に広めた。

また平成19年9月からは、大阪府消防協会南河内地区支部会計監事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

こまつ ひろみつ
○小松 弘満 広島県江田島市消防団 団長

現住所 広島県江田島市

昭和28年に入団以来、55年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成10年、消防団長就任後は、消防団の充実強化に尽力するとともに、防火思想を市民へ普及徹底し火災予防啓発を展開、更には、平素より率先垂範して、消防団員を指導統率するなど、団員に対する教育訓練に積極的な取り組みを行い質的向上に尽力し、平成16年11月の江田島市消防団発足後は、消防団活性化事業において、消防団施設等の均等化を図るための組織編成及び体制など、江田島市消防団の基盤づくりに多大な貢献をしている。

平成17年からは、広島県消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

ひらいし たかお
○平石 隆夫 広島県北広島町消防団 団長

現住所 広島県山県郡北広島町

昭和35年に入団以来、48年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

優れた経験と技能、そして、複雑多様化する今日の災害の中でその防災体制と防災技術、消防組織の強化に尽力し、特に消防近代化と機動化に伴い、さらに訓練を通じて団員の消防技術の向上に尽力した。

平成6年4月、消防団長に就任してからは、持ち前の責任感とリーダーシップを発揮し、団組織と装備の充実強化を図り、防災力の向上に寄与した。

また災害対応に関しては、身の危険を顧みず床上浸水の家人の避難誘導と家財の整理を行う等、団員を統率指示し、夜中町内を警戒と巡視にあたり、被害を最小限に食い止めるなど多大な貢献をした。

常に有事に備えて団員の訓練、機械器具の点検整備に意を用い、さらに文化福祉の向上等に貢献した功績は誠に顕著である。

か さ か な が は る
○加坂 長治 広島県三次市消防団 団長

現住所 広島県三次市

昭和39年に入団以来、44年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成5年、団長就任後は、過疎化による団員の減少、変化の激しい社会情勢への対応として、団員の資質向上による体質強化、機動力の強化が最優先であると考え、消防学校への入校、また団員の規律訓練やポンプ操法訓練等を積極的に実施するなど、団全体の意識の高揚に努めている。

平成18年9月の豪雨災害では三次市川地地区の河川増水により宅地への浸水、道路の寸断等大災害となり避難勧告が発令された際には、団員に対して避難誘導、災害応急処置の指示を出し、浸水被害を最小限に阻止し、地元住民から感謝と敬意が寄せられた。また、平成16年4月、8市町村合併に尽力し、合併後の初代団長として、団員への指揮命令、教育訓練、実務訓練を継続的に実施するなど常に団員の先頭に立ち、団組織の強化と防災力の向上に寄与してきた。

平成13年からは、広島県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

え が し ら ま す ら お
○江頭 大丈夫 長崎県諫早市消防団 副団長

現住所 長崎県諫早市

昭和42年に入団以来、36年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成7年、旧森山町消防団団長就任後は、消防団と住民及び消防署との合同火災訓練を実施するなど率先して消防防災体制の強化に努め、更に長崎県消防協会北高来郡分会副会長等として、広域的な消防運営業務の遂行、団員の育成指導など協議会並びに分会の発展に大きく貢献した。

また、平成17年3月の一市五町合併時には、合併市町消防団との調整に貢献するとともに、合併後は広域となった新市消防団の副団長として団長を補佐し、新市内の消防団活動の連携融合にも尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{もり}森 ^{のりよし}法義 長崎県諫早市消防団 副団長

現住所 長崎県諫早市

昭和30年に入団以来、53年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成10年、旧多良見町消防団長に就任後は、消防力の強化、団員の育成指導、地域の防火思想の普及に努め、更に、火災等の災害時に際しては、永年の経験を生かした的確な現場指揮にあたり、被害の軽減に多大な貢献をしている。

平成17年3月の市町合併時には、合併市町消防団との調整に尽力され、合併後は新市消防団の副団長として多良見地域を総括し、従前と同様の任務にあたり、また、広域となった新市消防団の副団長として団長を補佐し、新市域内の消防団活動の連携融合にも貢献している。

また平成18年からは、長崎県消防協会監事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{かわの}川野 ^{いせい}惟精 熊本県人吉市消防団 団長

現住所 熊本県人吉市

昭和39年に入団以来、39年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成3年、団長就任後は、関係者のもとに精力的に出向き意見を聴取・集約後、消防団組織の再編成を唱え、平成8年に組織の再編成を成し遂げ、団員の確保はもとより、消防体制の充実・強化に大きく貢献した。更に持ち前のリーダーシップを発揮し、周辺市町村では最初の女性消防隊の設置にも尽力し、消防団の活性化を図っている。

また平成13年4月から平成16年3月、更に平成20年4月から、熊本県消防協会常務理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

にしぞの とおる
○西園 徹 鹿児島県日置市消防団 団長

現住所 鹿児島県日置市

昭和35年に入団以来、48年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成9年、旧吹上町消防団長就任後は、小型動力ポンプ、ポンプ自動車の購入や防火水槽、消火栓の設置等に尽力し、消防施設の整備強化を図るとともに、消防操法の技術向上に努め消防団の発展に貢献している。

また、平成19年4月には、発足後3年目となる日置市消防団の統括団長に就任し、旧4町の各方面団を統率するため、定期的な消防団幹部会の開催を定着させ、各方面団の意見収集、装備品の調査・検証などを推奨し、装備品の均一化を図るなど、日置市消防団の意思統一、団結のため尽力している。

また、平成20年4月からは、鹿児島県消防協会常議員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

いわい みちこ
○岩井 美智子 石川県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 石川県輪島市

昭和57年、輪島市女性防火クラブ連合会発足時から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、発足と同時に会長に就任、平成4年には石川県女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成4年、石川県女性防火クラブ連絡協議会の副会長に就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、防火講習会、救急救命講習会の開催、住宅用火災警報器の設置促進活動を行なうなど、防火防災思想の普及、啓発に積極的に取り組み、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{たなか}田中^{なつみ}夏美 大阪府婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 大阪府寝屋川市

昭和55年、寝屋川市婦人防火クラブ入会時から、率先して地域での防火活動に参加し、平成元年には同クラブ委員長に就任し、安心安全な地域づくりに多大な貢献をしている。

平成9年、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会副会長就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、府内クラブ員の取りまとめや消防学校における指導者養成研修の実施、代表者を対象とした防火防災に関する視察・講演会を開催するなど、会の活性化と役員・会員の資質向上に尽力しているほか、平成20年、同協議会会長に就任し、住宅用火災警報器の設置促進の強化、防災訓練への参加協力をはじめ様々な行事を通じて地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{やまさき}山崎^{たみこ}たみ子 兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 兵庫県養父市

昭和55年、建屋婦人防火クラブ（現 養父市婦人防火クラブ）の発足から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、平成6年には同クラブ会長に、平成17年には兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の会長に就任、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成17年の兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会会長就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、住宅用火災警報器の設置促進や火災予防思想向上のための研修会開催、救急救命講習の普及活動に尽力するほか、他府県婦人防火クラブとの連絡調整役を担うなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{まえはら}前原 ^{さよ}紗代 和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 和歌山県海南市

昭和52年、海南市冷水婦人消防クラブに入会時から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、平成元年には海南市婦人消防隊連絡協議会会長に、平成11年には和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成17年の和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会会長就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、防火防災思想の普及、啓発に積極的に取り組み、県下婦人防火クラブの意識向上に貢献している。また、県婦人防火クラブ連絡協議会会長として県国民保護協議会委員、県消防広域化推進計画検討委員会委員に就任し、和歌山県国民保護計画や、消防広域化の検討に携わるなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{まつやま}松山 ^{まさこ}政子 高知県女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 高知県香南市

昭和57年、香我美町婦人防火クラブの設立に尽力し、初代委員長として率先して地域の防火活動に参加し、昭和59年の香南消防組合婦人防火クラブ連合会（現香南市女性防火クラブ連合会）発足時には副会長に、昭和62年には会長に就任し、地域の安心・安全の確保に多大な貢献をしている。

平成16年、高知県女性防火クラブ連絡協議会会長就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、住宅用火災警報器の設置促進や防災訓練等に積極的に参加し、防火防災思想の普及、啓発に積極的に取り組み、高知県の消防・防災の指導者として、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{やの}矢野 ^{えつこ}エツ子 大分県婦人防火クラブ連合会 副会長

現住所 大分県杵築市

昭和54年、杵築漁協杵築支所漁協婦人部消防隊へ入隊し、率先して地域での防火活動に参加し、平成9年には同消防隊隊長に、平成15年には大分県婦人防火クラブ連合会の副会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成15年の大分県婦人防火クラブ連合会副会長就任後は、県内会員約2,200人の取りまとめや連絡調整役として、大分県内の火災予防思想の普及等に尽力するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○^{ながやま}長山 ^{みえこ}ミエ子 鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 鹿児島県伊佐市

昭和60年、大口市崎山地区女性防火クラブ（現 伊佐市大口崎山地区女性防火クラブ）の設立に尽力し、初代会長として率先して地域での防火活動に参加するとともに、昭和61年には大口市外四町女性防火クラブ連絡協議会（現 伊佐湧水女性防火クラブ連絡協議会）会長に就任し、地域の安心安全の確保に多大な貢献をしている。

昭和61年、鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、各種団体への防火防災意識向上のためのPR活動、住宅用火災警報器の設置促進活動等を行うとともに、毎年県消防学校において、婦人防火クラブ研修会を開催し、積極的に県下婦人防火クラブの意識向上に貢献するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○吉田^{よしだ} ミツ江^{みつえ} 鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 鹿児島県鹿児島市

昭和62年、吉野町中別府婦人防火クラブの設立に尽力し、初代会長として率先して地域での防火活動に参加するとともに、同年、吉野地域婦人防火クラブ連合会会長に就任し、地域の安心安全の確保に多大な貢献をしている。

平成10年、鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任後は、そのリーダーシップを遺憾なく発揮し、各種団体に対し、住宅用火災警報器の設置や防災製品の普及啓発を行うとともに、毎年県消防学校において、婦人防火クラブ研修会を開催し、県下婦人防火クラブ員の意識向上に貢献している。また、各種研修への積極的な参加等により他婦人防火クラブ等との連絡調整役として尽力しており、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。